

事務事業名		雲南市地域活性化施設情報発信設備整備事業		所属部	産業振興部	所属課	商工観光課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈定住環境〉		所属G	商工観光G	課長名	中村清男
	施策名	〈08〉高速・広域交通網の整備		担当者名	竹下博昭	電話番号	0854-40-1054
	目的	対 A) 高速道路利用者 B) 広域道路利用者	意図	市外主要都市と雲南市を安全で迅速に移動できるようにする。		(内線)	3714
	基本事業名	〈022〉高速道路の整備促進		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 4 0 0 8 国道・県道整備事業 項目 中事業 中事業名 1 0 1 5 0 1 高速道路整備関連事業		
目的	対 高速道路利用者	意図	安全・迅速に高速道路を利用してもらう。				

1 現状把握〔DO〕

(1) 事業概要

① 事業期間
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
(事務事業の概要)
・地域活性化施設に関する関係機関の協議・調整
(具体的なやり方、手順、詳細)
・高速道路利用者への道路情報・観光情報などの提供を行うとともに、雲南市への誘客に向けた活動を展開する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動)		25年度計画(25年度に計画する主な活動)		
		・情報発信設備計画の策定 ・設備整備 ・利用促進に向けたテレビCM, ラジオ番組		平成24年度で終了。		
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 整備計画の策定	回			1	
	イ 施設整備率	%			100	
	ウ 情報発信回数(TV・ラジオ)	回			52	
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	・高速道路利用者	ア 日本の人口(4月1日)	万人			12,747	
		イ 道の駅入込み客数(レジ通過)	人			7,938	
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
・雲南市に観光に訪れてもらう	ア 観光入込み客数	千人			966		
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)		② コストの推移		単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
特定財源		事業費内訳	国庫支出金	千円				
島根県補助金	1,750,000円		県支出金	千円			1,750	
事業費内訳(支出)			地方債	千円				
広告費(テレビCM)	200,000円		その他	千円			8,549	
一般財源			事業費計(A)	千円			10,299	
役務費(機器取り付け費)	63,000円	人件費	正規職員従事人数	人			2	
委託費(情報発信計画)	787,500円		延べ業務時間	時間			600	
(ラジオ番組取材放送)	380,000円	人件費計(B)	千円			2,351		
備品購入費(機器類等)	8,868,707円	トータルコスト(A)+(B)	千円			12,650		
合計	10,299,207円							

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
中国横断自動車道尾道松江線が国土交通省による新直轄事業となり、高速道路本線上での施設整備が出来なくなったことから、雲南市として高速道路隣接地に道の駅として地域活性化施設の整備を行なった。	道の駅としての情報発信施設整備に向けた計画を策定した。また、公設民営によりランニングコストの縮減を図った。	島根県より県内観光施設等の情報提供機能確保を求められている。市内事業所等から高速道路利用者の雲南市内への誘導に向けた仕組みづくりを求められている。

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている    * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である    * 余地がある場合⇒	
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である    * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 利活用する工夫を各振興部門や地元が創造することにより、雲南市の観光振興等の向上を図っていく必要がある。関係機関との協議成果についても県と連携を密にして取組むことにより、成果をあげることができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 道の駅の機能として、「トイレ」「休憩」「情報発信」が必須であり、高速道路利用者へのサービス提供に支障が出る。継続的に機器の更新などによるサービス提供が欠かせない。
C 効率性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由 統廃合はできない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 情報発信に関しては、その整備計画を策定して、効率的な整備を図った。ランニングコストについても、軽減できるシステムを構築できた。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 関係機関との協議・調整をし、最小限の人員で事業を実施した。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 情報発信設備に関しては、道路利用者への交通情報や市内観光施設等の地域・観光情報の提供であり公益性が高く、公平・公正である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	情報発信設備等については、中国横断自動車道尾道松江線の全線開通に向けて、関係機関との協議・検討を通じて、高速道路利用者へのサービス提供に資する整備を図っていく。	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
平成24年度末、吉田掛合IC～三次東JCT・IC間が供用開始となり、道の駅による情報発信を行っている。 平成25年度以降は吉田総合センターによる管理へ移行しているため、整備は完了した。																						
廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																						